

2022 年 5 月 31 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

D I C 株式会社で「グリーンローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下「当行」）は、D I C 株式会社（代表取締役社長執行役員 猪野 薫^{いの かおる}、以下「当社」）と再生可能エネルギー設備（太陽光発電・バイオマス設備）を資金使途とした「グリーンローン、以下「本ローン」）」を本日実行致しました。

本資金使途における設備資金は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポーティング・借入人の環境活動の第三者評価も取得し、最上位の「Green1」の評価を受けています。

当社グループでは 2021 年 6 月に公表した「DIC NET ZERO 2050」において、CO2 排出量の長期削減目標として「2030 年度 50%削減」及び「2050 年度カーボンネットゼロ」の実現を目指すことを公表しています。加えて、2022 年 2 月に公表した 2022 年～2030 年の長期経営計画「DIC Vision 2030」においても、サステナビリティ戦略として同様の目標を掲げ、CO2 排出量削減を推進することでカーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めています。

当社は本ローンにより調達した資金を当社工場内に設置する太陽光発電設備及びバイオマス設備に対する設備投資に活用することで上記の CO2 削減目標達成に取り組まれます。

<本ローンの概要>

貸出実行日	2022 年 5 月 31 日
資金使途	再生可能エネルギー設備（太陽光発電・バイオマス設備）
貸出人	株式会社三菱 UFJ 銀行
プロジェクト概要	再生可能エネルギー設備への投資 ● 太陽光発電設備 ◇ 所在地: D I C 館林工場内(群馬県館林市大島町東部工業団地 6023) ◇ 当該工場の総電力使用量の約 15%を本設備からの電力供給でカバー可能 ◇ 発電能力: 1,250kW、発電量実績(2021): 1,279Mwh(年間) ● バイオマス焚 boiler 設備 ◇ 所在地: D I C 鹿島工場内(茨城県神栖市東深芝 18) ◇ 製品製造過程で必要となる蒸気エネルギー供給を目的に導入予定 ◇ 従来は重油・LNG 等をエネルギー源として使用。本設備導入により当該化石燃料使用時と比べ CO2 排出量を 29,540t(年間) 削減見込

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上